

# 福平の露頭

## 県営布施川ダム管理事務所付近

県道126号線の福平石田線を田靱から布施川上流に向かい、福平の集落に入る辺りから道路の山側に福平凝灰岩層を見ることができます。集落内は道幅が狭く駐車する場所也没有。集落を過ぎてから2kmほど進むと、布施川ダム管理事務所に出ます。ここには、駐車場や展示館なども整備されており、露頭の観察には適した場所です。



## 事務所西側の露頭

この地層内に黒く光って見えるのは、「ハイアロクラタイト」と呼ばれる火山噴出物です。海底で噴出した溶岩が海水によって急に冷やされると、上の写真のように細かく砕けて角のとがった礫となります。この辺りには、海底で火山活動があったことが分かります。



## 事務所南側の露頭

この層は、ホタテガイなどの貝や腕足類の化石を含んでいます。「ホタテガイ」に注目してこの層が堆積した時代の環境を考えてみましょう。現在ホタテ貝は、岩手県や青森県、北海道でよくとれます。このことから考えると、福平凝灰岩層の堆積した時代、海水温は現在の北海道程度であったと予想できます。教師のちょっとした投げかけによって学習を深めることができるのではないのでしょうか。

また、ここで産出するほとんどの二枚貝がバラバラになっていることから、他の場所に生息していた貝が死んだ後に海流などによって1カ所に集められたもの（異地性）と考えられます。田靱のキラガイ（現地性）とは対照的です。

